

## 阿見第二地域づくり会議で挙げられた要望と町の回答

	行政区	要望	内容・理由・場所など	町の回答(対応内容)
1	阿見台	歩道と車道がガードレイル等で区分されない、白線だけの通学路に太陽光で光る歩道と車道を区分する発光板を設置する。	子どもとか散歩する歩行者を交通事故から守る。 特に夕方から暗くなる前が交通事故の割合が多い為。	当道路は既に路側線、グリーンベルト、防犯灯が設置されていますので、町では現時点でこれ以上の対策は考えていません。また、夕方から暗くなる前の時間帯の対策では、歩行者が反射たすきを身につけたり、散歩の時間帯を変えるなどのソフト面での対策も有効と考えられますのでご検討下さい。 (道路課)
2	阿見台	防災設備の充実を図る。避難体験を行い、避難誘導リーダーを輩出する。	ゲリラ豪雨や大震災時に2小学校が避難場所となる為、各地区の住民が参加した泊まり込みの避難体験を行う事で、実際に有った時の各地区の避難誘導リーダーをして活躍する。	今回は地域予算要望として選ばれませんでした。訓練費用を地域予算で支出することは可能です。防災危機管理課にご相談いただくことは可能ですが、訓練の計画や阿見第二小学校等との調整については地域でお願いいたします。 (防災危機管理課)
3	阿見台	自治会と役場とのネットワーク整備。	他の市(例:取手市)では、班長会等をネットワークでオンライン会議行っています。 阿見町も自治会のネットワーク経費の全額補助とウイルスソフトの全額補助。または、町のネットワークに自治会も入ることにより、経費節減を図ります。 区長会・班長会・地域予算会議・学校運営協議会・福祉運営委員会・独居老人当名簿を自治会の端末から見る等活用が広がります。そのような時代になっています。 自治会のデータ等もクラウド運用も検討。(自治会でのセキュリティ向上とバックアップ等不要)	現在の町の行政情報ネットワークにおいては、情報セキュリティに関する規定上、ネットワークへの自治会の加入を承認することができませんので、ご理解をお願いいたします。 (総務課)  町と行政区との間の情報共有については、当面はEメールやホームページなど既存の手段で対応していきたいと考えています。 (町民活動課)
4	西郷	ゾーン30エリアの指定、道路ペイント 安全対策。標識の設置6ヶ所と緑色のペイントで進入路付近を塗装する。	国道125号及び県道の抜け道及び耳鼻科、薬局があり車が多い。しかも50km/hくらい出して危険。	警察による規制(ゾーン30等)が決定すれば、道路ペイント等の安全対策について、警察や地域の意見等を聞きながら実施します。 (道路課)  茨城県警察本部の管轄になりますので、所轄の牛久警察署に要望内容をお伝えしました。また、地域からの要望書を町に提出していただく必要があるため、要望書の参考様式を区長さんにお渡ししました。 (生活環境課)
5	西郷	止まれ交差点(のペイント)、突起プレート設置。	(郵便局からチサンインへ向かう交差点が)事故多発、一時停止で車が止まらない。	突起プレート(道路鋸)の設置工事を令和4年10月に完了しています。 (道路課)
6	西郷	全エリアハウオーキング用看板設置。	健康増進PR、歩いている人が多い。 飛行場コース、東コース、二小コース、全周コースなど、健康増進PRのため、お薦めのウォーキングコースを紹介する看板を地区集会所等に設置する。	今回は地域予算要望として選ばれませんでした。健康増進PRという観点からも、地域予算を活用して看板を作成することは可能です。採用されるかどうかは地域づくり会議での話し合い次第にはなりますが、来年度改めてご提案いただければと考えております。 (健康づくり課)

	行政区	要望	内容・理由・場所など	町の回答(対応内容)
7	一区南	防災グッズ(水なしで使える簡易トイレ)を、第二地区の各行政区に3,000回分(1世帯30回分程度)を備えておく。	安全・安心な地域づくりをして、災害に備えた準備を進めたい。第二地区は、町のハザードマップを見ても水害の恐れは殆どない。地震などによる断水・停電などの被害発生時に、各行政区で緊急に簡易トイレを(各戸)配布し、生活を安心して送れる体制を準備しておく。	<b>【地域予算で対応】</b> ご要望ありました防災備蓄品は、令和5年度中に購入しお渡しいたします。 (防災危機管理課)
8	一区北	屋外消火器等の設置。地域の防災設備の充実を図るとともに、初期消火を迅速に行えるように、各班(4班)毎に各1本程度を設置して地域の防災の一助とする。	当地区には、消火用の消火栓が二箇所ほどならびに貯水槽は存在しない。さらに阿見消防署からも遠い位置に所在することから、火災の際の初期消火が重要と考え、各班の道路沿いに消火器を設置して、道路を通行する人が、火災を発見した場合、消防署に通報するのは勿論であるが、人命救助及び初期消火に努めることができ、地域の防災意識の高揚ならびに火災予防の意義をもつのではないかと要望する次第である。	<b>【地域予算で対応】</b> ご要望ありました消火器は、令和5年度中に購入しお渡しいたします。 (防災危機管理課)
9	上郷	上郷公会堂にインターネット環境を整備し「いばらきフリーWifi」を設置する	阿見町の公民館等にIBARAKI Free Wifiの設置が進められているが二小地区には公民館がないので公会堂にインターネット環境を整備し、IBARAKI Free Wifiの設置を希望する。 1. ネット弱者でネットが家で出来ないのが、コロナワクチン接種のオンライン予約を近くの公会堂で予約が出来ればよかった。 2. 町・行政区にかかる会議はWeb会議を公会堂で行えば、近くだし安心。 3. フリーWifiがあれば、災害時・通信障害時に公会堂から通信が可能となる。	<b>【地域予算で対応】</b> 令和5年度中に、上郷公会堂にフリーWi-Fiスポット機器を設置・設定いたします。IBARAKI FREE Wi-Fiの申請、設置後の管理等は行政区でお願いいたします。 (町民活動課)
10	上郷	公共交通機関を利用しやすい環境を整える	上郷地区からは路線バスを利用するには相当な距離がある。最寄りのバス停(例えば茨大前)付近に自転車置き場を整備し利便性を高めて欲しい(パークアンドライド)。	自転車置き場の設置について、バスの運行者である関東鉄道(株)と協議をしたところ、自社所有地であれば検討も可能とのことでしたが、当該要望地周辺には適地がないため難しいとの回答でした。また、茨城大学に土地提供の確認したところ、残念ながら同様の事例はないため対応が難しい状況です。 (都市計画課)
11	上郷	自分たちの歴史資料を残すための「区史編纂事業」	先代、開拓入植の苦勞を後世に継承することを目的として、当時の写真などを掘り起こしたり、当時の話しをまとめたりする。また、町から貴重な資料などを(の提供を)協力してもらおう。 住民が参加し、未来世代にそれを引き継ぐために、いまできること。地域の歴史から学ぶことは多い、災害対策にもなる。	「阿見町史」をはじめ、これまで町が刊行してきた歴史・民俗関係の出版物がありますので、ご要望に応じてこれらを精査し、情報提供させていただきます。 (生涯学習課)